

# 第3編

## 八千代市第5次総合計画 前期基本計画

---



# 第1部

## 総論

---

### 第1章 計画の基本指標



## 第1章 計画の基本指標

### 第1節 人口

#### (1) 総人口

本市の人口動向を分析し、将来展望を示す「八千代市人口ビジョン」における将来人口推計との整合を図り、本計画では、直近の人口動向を踏まえ、令和6（2024）年度末には205,000人になるものと想定します。

##### ● 将来人口

	令和元（2019）年度末	令和6（2024）年度末
人 口	200,275人	205,000人

#### (2) 世帯数・世帯人員

核家族化の進行により、世帯数は増加するものの世帯人員は減少することが予測され、令和6（2024）年度末には95,000世帯（2.16人／世帯）になるものと想定します。

##### ● 将来世帯数

	令和元（2019）年度末	令和6（2024）年度末
世 帯 数	90,547世帯	95,000世帯
世帯人員	2.21人	2.16人

#### (3) 年齢構成

令和6（2024）年度末における年齢別人口及び構成比は、0歳～14歳の年少人口25,900人（構成比12.6%）、15歳～64歳の生産年齢人口127,300人（構成比62.1%）、65歳以上の老年人口51,800人（構成比25.3%）になるものと想定します。

##### ● 将来年齢構成

	令和元（2019）年度末		令和6（2024）年度末	
	人口	割合	人口	割合
0～14歳	25,949人	13.0%	25,900人	12.6%
15～64歳	124,183人	62.0%	127,300人	62.1%
65歳以上	50,143人	25.0%	51,800人	25.3%

## 第2節 土地利用

本市の土地利用は、市域の南部から中央部にかけての市街化区域と、北部の市街化調整区域に大別されます。

さらに、利用形態では、市街化区域の京成本線沿線の市街地及び東葉高速線沿線に工業団地などを有する市街地、また、市街化調整区域の自然環境を保全する地域と大きく3つに区分されます。

今後も、都市的土地利用と自然的土地利用の調和のとれた良好な土地利用に努めます。

## 第3節 財政

前期基本計画期間（令和3（2021）年度から令和6（2024）年度）における一般会計の財政収支の見通しは次のとおりです。

### ■財政収支の見通し（計画期間累計）

区分		金額	構成比
歳入	合計	243,799百万円	100.0%
	市税	115,476	47.4
	交付税・交付金	28,382	11.6
	国・県支出金	63,304	26.0
	市債	14,331	5.9
	その他	22,306	9.1
歳出	合計	243,799百万円	100.0%
	人件費	45,675	18.8
	扶助費	72,477	29.7
	公債費	22,976	9.4
	物件費	46,344	19.0
	普通建設事業費	19,510	8.0
	その他	36,817	15.1

※歳入のその他は、分担金・負担金，使用料・手数料，財産収入，繰入金，諸収入等

※歳出のその他は，補助費等，維持補修費，積立金，繰出金等

※新庁舎建設事業に係る費用は，財政収支の見通しに含めていない。